

昭和二十八年二月十日受領
答 弁 第 二 一 号

(質問の 二二)

内閣衆質第二一号

昭和二十八年二月十日

内閣総理大臣 吉田 茂

衆議院議長 大野 伴 睦 殿

衆議院議員伊東岩男君提出でん粉の政府買上げに関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員伊東岩男君提出でん粉の政府買上げに関する質問に対する答弁書

一 でん粉類の政府買上げについては、系統農業協同組合等の自主的出荷調整を促進するとともに、この効果を維持するため、必要と認める数量を買い入れることとしている。

二及び三 政府の買入に当り、倉庫不足のため、これを拒絶することのないよう、政府指定の営業倉庫を利用する等適宜の措置を講ずる。

四 実情を検討の上、必要と認められるときは、利用することも考慮する。

五 昭和二十七年産でん粉の検査成績は左の通りで、一等が大部分を占めており、検査が嚴重すぎることはない。

甘しよでん粉検査成績 二十七年十二月末現在

一等 一〇、一六六、六一六貫（九五・五％）

二等 八〇、六七六〃（四・五％）

総計 一〇、六五〇、六七二貫

一等と二等との価格差は一〇〇円である。

六 政府は、自主的出荷調整の促進と買入事務簡素化のため、全国販売協同組合連合会及び工業組合系統代表者としての山口幸太郎から買い入れているので、これらと生産者との間の決済においては、内渡等の臨時の措置が行われていると考えられるが、政府の支払は全額一時払で支払っている。

七 一月末現在政府買入数量

| | | | | |
|--------------|---------------------|---|-------------------|---|
| 北海道 (全組工) | 二三四、 三一、 六八〇〇 | 貫 | 二六六、 二二〇 | 貫 |
| 東京 (全組工) | 一一〇、 三八、 九一〇〇 | 〃 | 一四九、 〇一〇 | 〃 |
| 愛知 (全販) | | | 三〇六、 二二八 | 〃 |
| 福岡 (全販) | | | 五五七、 七〇六 | 〃 |
| 総計 | | | 一、 二七九、 一六四 | 〃 |

八 昭和二十七年度生甘しよ及び生馬鈴しよの価格

| 品名 | 一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 生甘しよ(貫) | 三七、四二 | 四一、八八 | 四一、九八 | 三九、九六 | 四一、八三 | 四一、四一 |
| 生馬鈴しよ(斤) | 三八、一九 | 三九、一三 | 三三、五三 | 三三、八二 | 二八、七八 | 三六、四四 |

| 品名 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 十二月 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 生甘しよ(貫) | 五四、〇一 | 六四、八九 | 四三、七四 | 三〇、〇〇 | 二二、〇〇 | 二九、〇〇 |
| 生馬鈴しよ(斤) | 三六、七九 | 三九、二二 | 三二、二九 | 三三、〇〇 | 三五、〇〇 | 三八、〇〇 |

備考 生甘しよ及び生馬鈴しよは、農家一戸当り平均価格

九 生いもの流通については、でん粉等の価格安定をはかるとともに、系統農業協同組合を通じ、計画的な協同販売を促進することによつて改善に努めている。なお、その他については、切干甘しよ、家畜飼料等の用途に指導している。

十 昭和二十八年度で、ん粉生産見込数量は八、二〇〇万貫で、需要はおおむねこれに見合い得るものと推定している。価格については、政府の買入基準価格程度に安定させることができると考えている。

右答弁する。